

気候危機・賃金・物価など暮らしと経済対策、学費の負担軽減…

市民の願いに応える政治を

国民・市民の世論と運動が政治を変える

自民党総裁選出馬辞退を表明した岸田首相。裏金問題など国民の怒りに追い込まれたものです。同時に流山市でも、井崎市長が強引に進めてきた公立幼稚園の廃止計画は、市民の怒りの前に、今議会での関係条例の提出は見送られました。国民・市民の世論と運動が政治を大きく変える原動力になっています。市民の願いに応える政治をさらに前へ進めましょう。わたしたちも全力で頑張ります。

23年度決算23億円の黒字

今定例会では、国民健康保険における「マイナ保険証」一本化の条例改正や、白みりんミュージアム（開業R7年4月）の指定管理導入条例が提案されています。また物価・エネルギーの高騰等で市民生活が苦しさを増すなか、市財政では、23年度の一般会計だけで黒字（使い残し）が23億6千万円にも。この財源を活かせば、市民の願い実現に大きく希望が広がります。ぜひ傍聴にお出かけいただき、一緒に声を広げて下さい。

流山市議会令和6年第三回定例会（9月議会）

会期 8月29日～10月2日 35日間

（議案 21件、請願・陳情 4件、発議 9件他）

8月 29日（木）本会議 午後1時開議

9月 3日（火）～6日（金）一般質問 午前10時～

9日（月）教育福祉委員会（担当 いぬい）

10日（火）市民経済委員会（担当 植田）

11日（水）都市建設委員会（担当 高橋）

12日（木）総務委員会（担当 おだぎり）

17日（火）～19日（木）・24日（火）

決算審査特別委員会（担当 植田）

10月 2日（水）本会議 午後1時開議

議案・陳情・意見書など採択



植田和子議員は
決算審査特別委員会を担当。

《一般質問》



高橋あきら議員 9月5日（木）
午後2時頃

- 市長の政治姿勢について
選択的夫婦別姓の導入について、大きな世論となっている。市長の見解を問う。
- 有機フッ素化合物（PFAS）対策について
発がん性が疑われるPFAS汚染が近隣市を含め問題になって

- いる。市の見解と安全対策を問う。
- 3 ギャンブル依存症対策について
国民病ともいわれるギャンブル依存症への理解・啓発などの行政・医療・地域の連携強化について問う。
- 4 熱中症対策について
深刻度を増す熱中症対策の強化を進めるべきと考えるかどうか。



いぬいえり議員 9月5日（木）
午後3:15頃

- 介護保険について
訪問介護の報酬引き下げで全国で影響が出ている。これをどう捉えるか。市内の現状はどうなっているか。
- 2 交通安全対策について
自転車用ヘルメットの購入助成制度を導入すべきと考えるがど

- うか。
- 3 南部地域のまちづくりについて
平和台飛地山の新たな開発計画について
- 4 防災について
(1) 初の「南海トラフ地震臨時情報」後の市の対策について
(2) 大規模水害対策について



おだぎりたかし議員 9月6日（金）
午後3:15頃

- 市長の政治姿勢について
自民党総裁選がテレビ等で大きく取り上げられる一方、気候危機やくらしなど喫緊の課題で政治の空白が生じている。国政に何を期待しているか市長の見解を問う。
- 2 教育行政について
田中弘美教育長が4年半の教育行政で重要視してきた点は何か。
- 3 交通政策の充実について
(1) 京成バス初石線の路線廃止への対応策について

- (2) 流山ぐりーんばすの現状と課題について
- (3) 流山本町のグリーンスローモビリティについて
- (4) 八木団地のデマンドバスについて
- (5) つくばエクスプレスの利便性向上について
- 4 市民の命と健康を守る施策に
(1) 国民健康保険制度について
ア 国保料の値上げ案について影響と当局の見解を問う。
イ 国民皆保険の堅持に向けた制度活用と見解を問う。
(2) 新型コロナウイルス感染症への対策について
(3) 夜間小児救急医療確保事業も含め、小児救急体制の確保策について

◆質問時間は前後する場合があります。ご了承ください。